

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2006-305113(P2006-305113A)
 【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)
 【年通号数】公開・登録公報2006-044
 【出願番号】特願2005-132294(P2005-132294)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月9日(2008.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体側より払い出された遊技球を貯留する凹状の貯留部を有する球受皿を備えた遊技機において、

前記球受皿は、その内部に中空部が形成され且つその中空部の周囲の少なくとも一部が透明部材により構成されると共に、

前記中空部内で動作可能に設けられた演出用可動体と、

その演出用可動体を駆動する駆動源と

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記貯留部には、一端に向かって徐々に幅狭となるように形成されると共に、貯留された遊技球を整流して前記本体内に誘導する整流部が設けられ、

前記中空部の少なくとも一部は、前記整流部の前方領域内に形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記球受皿には、前記貯留部内に貯留された遊技球を外部又は他の球受皿へ排出するための球抜き機構が設けられ、

前記中空部の少なくとも一部は、前記球抜き機構の前方領域内に形成されたことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記球受皿は、少なくとも一部が膨出形成され、その膨出部分の内部に前記中空部の少なくとも一部が形成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 つに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記球受皿は、前面部の略全体が膨出形成され、

前記中空部は、その膨出部分の内部にて左右方向に延設形成されたことを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記中空部は、全体が環状に形成された環状中空部であり、

前記演出用可動体は、前記環状中空部内を周回可能に構成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 つに記載の遊技機。

【請求項 7】

前記球受皿は、前記貯留部が形成された皿本体と、その皿本体を囲む皿カバー体とからなり、

前記中空部は、前記皿本体の内部に形成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 つに記載の遊技機。